

四国医療工学専門学校

学校新聞 1月号 学校の行事や魅力を毎月お届けします！

頑張る学生コーナー	1
就職セミナーに参加	2
ドクターズクラークの授業	2
年末大掃除	2
臨床工学技士模擬試験	2
高等学校での出前授業	3
医療機器メーカー特別授業	3
Excel®試験を受験	3

NICE

頑張る学生をご紹介します！

伊藝 蒼葉さん

医療情報学科 2年
高知県立佐川高等学校 出身



3回目である今回は、医療情報学科2年の伊藝 蒼葉さんにインタビューをしました。伊藝さんは本校入学後、医事コンピュータ技能検定試験2級・3級、医療秘書技能検定試験3級の3つの検定試験において全国成績優秀者として表彰されています。また、昨年10月から清和病院（高知県高岡郡佐川町）で勤務しています。

そんな頑張る伊藝さんに、いくつかの質問をしました！

Q & A

Q1 医療事務を志したきっかけは？

母が看護師をされており病院関係の仕事に興味を持ちました。自分の興味があることを目指そうと思い医療事務を志すようになりました。

Q2 本校に進学を決めた理由は？

取得できる資格が多く、資格を取得するための検定合格率高いということが大きな理由です。また、少人数で集中して勉強に取り組めるところが学習環境として良いと思いました。

Q3 本校の良いところは？また、他校との違いは？

一つの検定に対して先生方が熱心に教えてくださり、検定対策として、たくさん過去の問題に取り組むことができます。そして、分からないことはどんどん質問し、丁寧に教えてもらえます。また、友人と勉強を教え合うことでお互いに高め合うことができます。さらに本校は日頃から挨拶の習慣づけをしており、自然と自分から挨拶ができるようになります。

Q4 実習で学んだことは？

現場の雰囲気を早い段階で知ることができて良かったです。実際の現場で動く時に動きやすくなりました。

Q5 清和病院に就職しようと思った理由は？

まず地元から近いことです。遠すぎず近すぎずという職場としてはちょうど良い距離の場所にあります。あとは、実習を経験することでコミュニケーションが取りやすく特に先輩方と話しやすい環境であることに惹かれました。入職後も役職関係なく誰とも話しやすいと感じています。

Q6 今の仕事内容は？

担当が大きく3つに分かれており、受付・会計・パソコン業務があります。入職後1か月は受付の仕事、その後、会計の仕事に移り、最近ではカルテ入力などパソコンの仕事先輩方から教えていただいています。

Q7 授業内容が仕事にどう活かされていますか？

診療報酬に関する基本的な知識があるため、仕事に取り組む際にスムーズに行動することができていると思います。そして、現場で必要な保険の種類など、分からないことを減らすことができ、効率よく動くことができていると思います。

Q8 特に頑張っていることは？

パソコン業務において、カルテなどの入力方法をしっかり覚えるよう頑張っています。加えて、遅出の業務のパソコン入力やデイスサービスの出欠確認なども確実に覚え、より多くの仕事を任せたいだけよう努力しています。

Q9 これからの目標は？

パソコン業務だけでなく、遅出や日祝日出勤の業務を一人でするようにになりたいです。

Q10 高校生に向けて一言

自分の興味がある所から視点を絞っていくようにしてください。そうすることで「もっと知りたい！」など意欲が湧いてくると思います。

(記者：赤嶺)

12/19

臨床工学学科

就職セミナーに参加

12月19日、本校にて臨床工学学科3年生が株式会社シーメックの就職セミナーに参加しました。株式会社シーメックは高知市に本社を置き、医療機器レンタル販売事業、在宅医療関連事業、SPD事業（院内物流管理代行業務）を行う会社で、本校の卒業生が多く活躍しています。今回は卒業生2名にお越しいただき、会社概要や仕事内容、やりがいなどについてお話いただきました。

参加した学生からは、「貴重な話を聴かせていただいた。今後の就職活動の参考になると思います。」「社内研修制度など質疑応答で聴きたいことが聴けたのでよかったです。」との感想がありました。先輩方から貴重な話を聞くことができ、有意義な時間になったようです。（記者：赤嶺）



12/27,28

医療情報学科

臨床工学学科

学校中を美しく！年末大掃除

12月27・28日の2日間、教職員と学生が丸となって年末恒例の大掃除を行いました。学生はグループに分かれて、図書の整理、蛍光灯の汚れ落とし、各教室の机や床の拭き掃除などを行いました。皆でしっかり一年を締めくくり、新年を迎える準備を整えました。

学生からは「一年間お世話になった教室を綺麗にできて良かった。」「掃除をしながらその場で綺麗になっていくのが嬉しかった。」といった声が聞かれました。また、一年を振り返ってみてどうだったかを聞いてみると、「コロナ禍で大変なこともあったけど、友人とたくさん勉強できた一年だった。」としっかりとした口調で語ってくれました。（記者：赤嶺）



12/21

医療情報学科

ドクターズクラークの授業

12月21日、医療情報学科1年生のドクターズクラークという授業を取材しました。

ドクターズクラークは、「医師事務作業補助者」とも呼ばれていて、多忙な医師の事務作業を補助することで医師の負担を軽減し、治療に専念できるようにする為に生まれた職種です。具体的には、カルテの代行入力や診断書・処方せんの作成、さらには医師の指示によって検査オーダーを出したり、入院から退院までの経過をまとめたり等、医師の指示の下で、様々な事務作業を行います。ドクターズクラークの授業では、入職時に必要とされる健康診断書や入院保険金等を保険会社に申請する場合に必要な診断書の作成を行っています。提出先によって診断書の内容は異なるため様々な事例を知り、対応できる能力が求められます。

実際に授業を受けている学生は、「難しいけれど慣れることが大切だと思う。」「色々な練習問題にチャレンジして正確に作成できるようになりたい。」と練習問題に積極的に取り組んでいる様子。また、「問題を解いている時が楽しい。」と楽しさを感じているようでした。さらに、「興味がある分野なので頑張りたい。」と自分の将来も見据えて真剣に授業を受けていました。

（記者：赤嶺）

1/6

臨床工学学科

臨床工学技士模擬試験を受験

1月6日、臨床工学学科3年生が第2回全国統一模擬試験を受験しました。

この試験は日本臨床工学技士教育施設協議会が実施しており、年3回行われています。昨年の11月下旬に第1回が実施され、今回は第2回となります。国家試験まであと2カ月を切り、教員も学生たちも追い込みに入っています。試験の重要性を理解している学生たちは真剣そのものです。

受験した学生に話を聞いてみると「血液浄化分野、治療機器分野をもっと勉強していきたいと思った。」「医学分野、呼吸分野をもっと勉強しなければと感じた。」など、それぞれの課題となる分野が見えてきた様子でした。また、「過去問をもう一度丁寧に調べるのが大事だと感じた。」「集中力を保つことが大切だと強く思った。」と今後に活かせる気づきもあったようです。試験後には、「（国家試験までの）日が近づいているのももっともっと頑張らないといけない。」と決意を固めていました。

（記者：赤嶺）

1/12

臨床工学学科

高等学校での出前授業を実施

1月12日、高知県立室戸高等学校にて1年生と2年生を対象にトリアルスタディ（出前授業）を行いました。

臨床工学技士の職業説明を行った後、グループに分かれて、人工透析装置、心電図モニター、電気メス、穿刺を体験していただきました。体験した生徒さんは、「（電気メスは）切っている感覚がなく、すっと撫でるようにしたら切れていてビックリした。」「（心電図モニターは）電極パッドを貼り付けるだけで心拍数などが分かってすごいと思った。」「楽しくて、とても勉強になりました。」と充実した体験ができた様子でした。さらに、「様々な医療機器が今の医療を支えていることが分かった。」と感想を聞かせてくれる生徒さんもいました。

続いて、ECMO(エクモ)の体験をしていただきました。コロナ禍で大きく取り上げられているECMOですが、生徒さんの多くが実物を見るのは初めての様子で、目をキラキラさせて話を聴いているのが印象的でした。最後には身体に関する様々な質問もあり、あっという間に時間が過ぎていきました。参加いただいた皆さんの進路選択の一助になれば嬉しい限りです。（記者：赤嶺）



1/13

臨床工学学科

医療機器メーカーによる特別授業

1月13日、臨床工学学科2年生がフクダ電子四国販売株式会社様の特別授業を受講しました。

同社は心電計をはじめとした検査機器、治療機器に加え、在宅医療、AED事業なども展開する創業80年の医療機器専門メーカーです。今回の授業は本校卒業生2名（臨床工学技士）を講師に迎え、仕事内容や取扱商品について教えていただきました。

生体情報モニターについては、実際のモニターの使い方からトラブル対応まで詳しい説明がありました。臨床現場での経験談や国家試験での出題傾向も交えてお話いただき、学生たちは質問もしながら熱心に耳を傾けていました。

授業を受けた学生からは、「進路選択に活かせる情報をたくさんいただいた。」や「病院以外にも選択肢があることを知り視野が広がりました。」などの感想があり有意義な時間になったようです。また、「モニターについての知識が少ないことを実感しました。」など自身の勉強不足を感じた学生もいました。さらに、「先輩たちが第一線で活躍していてすごいと思いました。」と先輩の偉大さを直接感じたようです。（記者：赤嶺）



1/18

Excel®表計算処理技能認定試験を受験

医療情報学科

1月18日、医療情報学科1年生がExcel®表計算処理技能認定試験3級を受験しました。この試験は株式会社サーティファイが主催する資格試験です。認定基準は、Excel®を使ってビジネス社会における簡単なワークシートの作成とデータの入力を行うことができること、また、パソコン、表計算、ビジネス図表に関する基礎的な技能を有していることです。実技試験の得点において得点率70%以上で合格となっています。

実際に受験した学生は、「授業で習ったことを思い出して取り組んだら大丈夫でした。」と手応えを感じた様子でした。また、「パソコン入力は苦手だけど、今日のExcelの問題は解いていて楽しかったです。」と笑顔で話してくれた学生もいました。

（記者：赤嶺）

